

人口と世帯
男 2,290
女 2,442
計 4,732
世帯数 1,136
49.12.1現在

さ
さい
広報

50. 1. 1
No. 115
編集と発行
佐井村役場
民生相談課
印刷
協同印刷



一九七五年の年が明
けました。

おめでとうございます。
元日の朝、年賀状の配
達されるのを待つ気持
ちはたのしいひととき
です。

やや駭くく

賀状に混り来し訃
あんな丈夫そうなか
たが、と思わずそのく
わしい消息が聞きたく
なるような知らせもあ
るでしょう。

新年号

民生(児童)委員 改選されました

最近における社会状況の変化、生活環境の複雑化、家族構成の变化は民生委員活動に新たな活動対象として加わり、その内容は一層多様化し高度化しております。民生委員は、民間篤志家としてまた福祉行政に対する協力機関として

社会福祉増進に大きな成果を挙げつつあり民生委員のはたす役割はますます重要度を加えております。このような背景のもとに、昭和四十九年十二月一日を期して一斉改選が行なわれました。今回の改選に際し法に基づき民生委員推選

新民生(児童)委員

(昭 49. 12. 1付)

担 当地 区	氏 名	勤 務 年 数
工場町・浄土寺町 川原町・大瀬戸	田 名 部 武 勇	18 年
谷地町・大町	若 山 正 夫	0
緑町・新町	山 本 正 正	0
浜町・黒岩・中道	渡 辺 み な	9
仲町・浜町	樋 口 京 子	0
川向・台場所	和 田 喜 一	6
浦町	西 谷 豊 彦	3
新町	島 野 利 勝	3
原田	加 藤 正 吉	12
川目	高 久 系 よ	9
矢越	館 脇 敏 雄	3
磯谷	田 中 武 雄	6
長後	大 石 玉 五 郎	0
福浦	越 膳 き み	3
牛滝	野 村 義 勝	0
野平	佐 藤 忠 夫	3

退任された委員

担 当地 区	氏 名	勤 務 年 数
工場町・浄土寺町 川原町・大瀬戸	樋 口 よ い	18 年
新町・緑町	石 沢 み さ	21
仲町・浜町	金 沢 み 弥	6
長後	大 坂 浅 次 郎	15
牛滝	坂 井 文 雄	9

ん委員会を各層から十四名委嘱し具体的な活動実態等を勘案し、とくに地域住民の信頼を得その期待にこたえる適任者を確保するため慎重に審議し県審議会に推せんしたところ、次の方々が、向こう三年間各地域を担当することになりました。尚、今回事情により退任された五名のみなさんほんとうに長い間ご苦労さんでした。

佐井村老人クラブ 連合会役員会 改選される!!

先般、老人クラブ連合会役員会が開かれ、次の方々が役員に選任されました。

各地域の老人クラブの組織化が終り各単位クラブごと教養の向上健康の増進、レクリエーション、地域社会との交流などいろいろな活動を自主的に行なっておりその活動も年々盛んになってきております。

老人クラブ連合会々長に選任された川畑徳次郎さんは、就任のあいさつで、現代社会の中でもみくちやにされその老体にむちうち、人生の坂道を登りつめ、あとどれだけ長生き出来るだろうか。そんなものに気をとられず七十年、八十年の年輪のキャリアを生してお互いに慰め、いたわりあつてローソクの火が残り少なくなった私達であるが、やがてやって来る二十一世紀までお互いががんばりたい。残り少ないその火の消えない間に少しでも社会のため、当村の老人福祉のため村民のみなさまとたがいにがんばりたいとのべられました。

今後の佐井村老人クラブ連合会の発展が期されています。

謹 賀 新 年

村 長	松谷 清治	建設 委員 長	大畑 勝義	産業 委員 長	奈良謙太郎	副 議 長	東出 昇	農 委 會 長	奥本 文男	監 査 委 員	加賀 秀雄	選 管 委 員 長	樋口 秀次	教 育 委 員 長	品田 素一	副 議 長	奥本 文男	診 療 所 長	馮 周武	村 職 員	同
助 役	宮川 年晴	副 委 員 長	西村 福男	副 委 員 長	吉田 順一	議 會 議 長	東出 昇	公 平 委 員 長	若山 直衛	選 管 委 員	委員 一同	教 育 委 員	石沢 遵二	副 委 員 長	川畑 寅吉	副 議 長	奥本 文男	齒 科 診 療 所 長	李 聖民		
副 議 長	宮川 年晴	副 委 員 長	内藤 清美	副 委 員 長	長後 雄二	副 議 長	東出 昇	公 平 委 員	委員 一同	選 管 委 員	委員 一同	教 育 委 員	委員 一同	副 委 員 長	大畑 勝義	副 議 長	奥本 文男	齒 科 診 療 所 長	李 聖民		
副 議 長	宮川 年晴	副 委 員 長	西村 福男	副 委 員 長	長後 雄二	副 議 長	東出 昇	公 平 委 員	委員 一同	選 管 委 員	委員 一同	教 育 委 員	委員 一同	副 委 員 長	大畑 勝義	副 議 長	奥本 文男	齒 科 診 療 所 長	李 聖民		

会長 川畑 徳次郎
 副会長 太田 俊 男
 〃 横浜 一 郎
 理事 加藤 長次郎
 〃 下山 勇 吉
 〃 大坂 浅次郎
 〃 田中 慶三郎
 〃 竹内 茂三郎
 〃 川村 喜代八
 〃 石沢 み き
 〃 中村 菊次郎
 〃 監事 中村 菊次郎

年頭のあいさつ

村長 松谷 清治

明けましておめでとうござい
 す。心せわしい年の瀬を過ぎされて
 久し振りに家族ご一同のだんらん
 に親しまれていることと拝察いた
 します。今年もご健康に恵まれた
 ご繁栄を衷心から祈念してやみま
 せん。

昭和半世紀の最後を飾るこの年
 は、物価の不安定を背景とし沿岸
 漁業、肉牛市場の不振に加えて失
 業保険法改正等が予測されており
 ます。どれ一つ取り上げて佐井
 村にとっては、生活の重大な影響
 材料であります。
 私達は連帯感を引き締め、この
 難局を克服してゆかなければなり
 ません。勿論一般行政の施策は、
 村財政の合理的運用を基礎にして

既定の計画を推進し、前進させ、
 生活基盤の拡充に精進する覚悟で
 ございます。何とぞ建設的なご指
 導、ごしつせいをお願い申し上げ
 ます。
 ともあれこの年が良き機運に恵
 まれ公私相共に明るい一年となり
 ますことを切願して新年のごあい
 さつといたします。

年頭のあいさつ

助役 宮川 年晴

村民のみなさん、年頭にあたり
 一言ごあいさつを申し上げます。
 昭和五十年の新春をつつがなく
 迎えましたことを、みなさんと共
 に喜びたいと存じます。

今年もまた、村内大小の問題に
 つき微力を尽くす所存ではござい
 ますが、こと出かせぎ問題に絞り
 ましてその門戸は不況のあおり
 を食って狭くなり、勢い出かせぎ
 しなくてもいい村、地場産業の振
 興という古くて新しくそして切実
 な壁に突き当たっております。小
 さなことでも始めましょう。炭
 を焼いたことのある人は炭を焼く
 昆布、若布、こうなご等の第二次
 加工所はどうか、ヒバの民芸品は
 金にならないか、シイタケ、ナメ
 コにもっと工夫がないか等みなさ
 んからもいろいろお聞きしながら
 前進、解決しなければならぬこ

年頭のあいさつ

議長 東出 昇

とがたくさんご座いますので、変
 らざるご指導ごしつせいをお願い
 申し上げます。新年のあいさつと
 いたします。

昭和五十年の年頭にあたり、佐
 井村議会を代表しまして、つつし
 んで新年のごあいさつを申し上げ
 ます。

村民のみなさん、あけましてお
 めでとうございます。
 ここに希望にあふれた新春を迎
 えるにあたり、みなさまがたの清
 福とご繁栄を心よりお祈り申し上
 げます。

わたくしは、昨年二月二十五日
 招集の第一回臨時議会において、
 凶らずも議長の要職につき、その
 重責を痛感し新たな決意をもち、
 その後微力ながら円滑な議会運営
 と村政の伸展を期して、誠心誠意
 懸命の努力を傾注してまいったつ
 もりであります。おかげをもちま
 して、大過なく越年することがで
 きました。これもひとえに村民各
 位のご支援助とご協力の賜であると
 心から感謝の意を表する次第であ
 ります。
 顧みますれば、数年以來、村執
 行機関はもとより、当村議会にお
 いてもその議決権の伸張と村民の

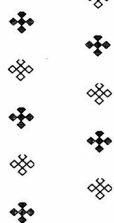
福祉増進 的とし歩んでまいり
 ました。しかしながら、村民生活
 の安定、福祉増進を図るには今後
 幾多の重要問題が山積していきま
 す。とくに教育行政あるいは道路、漁
 港等の建設に重点をおいた施策を
 講じなければなりません。これら
 の解決を図ることがわれわれに課
 せられた責務であり、関係機関と
 相まって最大の効果があがるよう
 努力する覚悟であります。
 昭和五十年こそは、本村のより
 いっそう躍進の年として村政全般
 にわたり内容充実に最大の努力を
 傾注する所存でありますから、な
 んにとぞ倍旧のご指導とごべんたつ
 をお願い申し上げます。
 年頭にあたり、いささか所感を
 のべてごあいさつといたします。

保健婦だより

結核予防は 家庭から

青森県は、全国でも結核患者の
 多い県です。下北のうちでも当村
 は新しく発病する患者がふえてい
 ます。特に四十五歳以上の中高年
 齢者に多い。
 結核はうつる病気でですから身近
 かに治療をしない患者がいたり、
 日常生活の注意をおこたったりす
 ると家族にもうつたりします。完
 全に治療をしないと治る病気で

役場では毎年BCGワクチンの
 予防接種や、健康診断を行なって
 早期発見、早期治療、予防等につ
 とめております。
 ツベルクリン反応で赤く出ない
 人はこのBCGワクチンを接種し
 て、結核の免疫をつけることがで
 きますがこのBCGワクチンの効
 果は大きくとえ結核のばい菌が
 身近かにあつても発病を押さえる
 力があります。BCGの予防接種
 をうける機会がなかつた老人に多
 く発病していることから、BC
 Gの効果は大きいと言われていま
 す。
 今年からツ反及びBCGの接種
 とレントゲン検査の年齢がかわり
 ました。三歳児、小学校一年生、
 中学校二年生、十六歳以上と対象
 がしぼられましたので、この機会
 をのがさないようぜひうけるよう
 にしましょう。もし風邪をひき、
 せき、痰がひどく熱もあり背中
 の痛みがでたり、なかなか治らな
 いようでしたら必ず病院へ行きレ
 ントゲン撮影をしてもらいまし
 う。
 こうして一人一人が結核から身
 を守り、家庭から結核の患者を出
 さずやがて当村から結核の患者を
 なくしましょう。



冬の交通安全運動

雪道を安全に

例年、冬には積雪や凍結など路面の状態が悪いため、スリップによる交通事故が多くなります。特に、雪の降りはじめの時期は運転者が雪道に慣れていないこと、雪のため運転席からの視野が狭くなること、急ブレーキで車がスリップすることなどの悪条件がかさなり、歩行者もまた寒さで先を急ぐあまり左右の安全を確かめないう横断するなどして、交通事故がおきています。

運転者も、歩行者も、十分注意して、事故のない明るい冬を送りましょう。

〔ドライバーは〕

車両点検の整備を十分に。冬は車両の点検整備を怠りがち。ライト、ワイパー、ブレーキ、ストンプランプなどの整備を。

すべり止め装置を。タイヤチェーンかスノータイヤを必ずつける。安全速度で。雪道での急加速、急ブレーキ、急ハンドルは危険。常に安全な速度で走り、無理な追い越しをしない。

〔歩行者は〕

右側のはしを歩く。雪で道が狭

暖房器具による

火災をなくそう

いし、帽子などをかぶっているため車が聞こえにくいので車とすれ違う時、事故がおこりがち。できるだけ右はしへよって歩き、ふぶきの日は特に注意。

路上でのミニスキー、ソリ遊びは大変危険ですから、絶対にしないようにしましょう。

私たちの生活にとつて、冬の暖房はなくてはならないものになっており、寒さの到来とともに、どの家庭でも各種の暖房器具が使われはじめます。やはり一般家庭で最も多く使用されているものは、ストーブとこたつです。

・暖房器具を正しく使うために

- (一) 出入口、通路、階段下など人の出入りする位置で使用しない。
- (二) カーテン、ふすま、障子など燃えやすいものの近くで使用しない(特にカーテンは、風にあおられてストーブ等に接触することがある)
- (三) 狭い部屋で使用す場合は、歩

七草がゆ

七日は「ななくさ」。若菜の日ですが、本来「七草」というのは七種の草のこと、正月七日の朝、七種の草をいれた七草がゆをたべると病気をしないと

いう言い伝えがあつて、古くからの年中行事でした。初めは草でなく七つの穀物つまり「いね、むぎ、まめ、あ

わ、あずき、きび、こむぎ」だったという説がありますが、鎌倉時代から七種の野菜や野草に変わったといわれています。

この七草にもいろいろ説があつて、セリ、ナズナ、ゴギョウ、ホトケのザ、スズシロ、タバコ、スズナを指すようですが、

これも今日の植物名とちがついて、不明な点が多いようです。牧野富太郎博士の説によりますと、ホトケのザというのはタバコのこと、ゴギョウはオギョウの誤りで、母子草のことだそうです。

結局、博士に従えば、春の七草というのは、セリ、ナズナ、オギ

季節節の話題

松の内

いまスズナをだいこん、スズシロをにんじんと言いましたが歳事記にはスズナをかぶ、スズシロをだいこんと書いてあるのを見ました。念のため申しさえておきます。

門松というのは、新年を祝つて家の戸口や門前に立てる松のことですけれど、

古い言い伝えによりますと、歳徳神の降臨を迎える「聖なる立て木」ということだったようです。聖なる木を山から運んでくるにもいろいろな札式がありました。聖なる木は松とはかぎらず、山のいちばん年長の木から選んで運んできたといわれます。

行などの行動の邪魔になる位置は避ける。(つまずいたり、衣服をひっかけて倒すことがある)

(四) 小さな子どものいる家庭ではストーブのまわりを枠でかこうなど、手が触れないようにする。

(五) 初めて使用する場合は、説明書をよく読み、正しい使用方法をまずマスターする(説明書は、手入れや調整の時にそなえ、大切に保管すること)

(六) 使い慣れている器具でも、使用前には十分な手入れと点検をする。

・石油ストーブを使うとき

(一) 火をつけたまま器具を持ちこばない。

(二) ガソリンなど引火性のものは絶対に近づけない。

(三) 石油ストーブに給油するときは、ガソリンなどがまちがつて入っていないか、においや色で確かめ、完全に火を消して、油をこぼさないよう専用ポンプを使って、油量計をよく見ながら静かに行なう。

(四) 使い終わったときは、完全に火の消えたことを確かめる。

・電気こたつ、電気あんか等を使うときは

(一) たこ足配線を使用しない。

- (二)ヒューズが切れたときは、正規の「温度ヒューズ」を使う。
- (三)コンセントやプラグのゆるんでいるものはとりかえる。
- (四)洗たく物の乾燥用など、まじがった使い方をしない。
- (五)使い終わったら、スイッチを切るだけでなく、コンセントからコードを抜く。



ストーブの時期です
置き場所に注意しましょう。

失保認定日が 決まりました

出かせぎ者のみなさん、長い間ご苦労様でした。
失業保険認定日の日が次のとおり決まりましたから、受給者は振興センター総合研修室(二階)へおいで下さい。支払いは昨年と同じように下北信用金庫佐井支店と下北農業協同組合佐井支所で支払いされます。

申告書は、昨年不備な点が多かったため、認定事務にかなりの時間を要した人もありましたから、今年度はこのようなことのないように十分注意して下さい。特に三番の就職先をさがしたか(失業保険を受給するための条件として義務づけられています。)の欄は該当するところは必ず記入して下さい。

認定日

回数	認定日
5	四月三十日
4	四月二日
3	三月五日
2	二月六日
1	一月八日

認定番号・窓口番号・受給番号

窓口番号 時間	1	2	3	苦情処理
9:00	450170 }	450331 }	450531 }	政府職員 給付制限 就労申告 その他
9:30	450171 }	450371 }	455571 }	
10:00	450211 }	450411 }	450611 }	
10:30	450251 }	450451 }	450651 }	
11:00	450291 }	450491 }	450691 }	
	450330	450530	450730	

火事、緊急の
場合は

119番へ

佐井分署
電話 2266

海川等にゴミをすてないで下さい。

すてた人は5万円以下の罰金が
とられます。

民生相談課

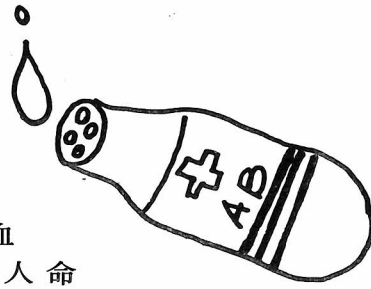
献血に

ご協力下さい

血液は人間にとって、いのちの綱です。人間の生命が母体に宿ってから、この世に生まれ、一生を終るまで一秒たりとも休みなく活動を続け、われわれの生命を保つてくれるのは血液です。

この貴重な血液は、一時に多量を失えば生命の営みは止まってしまいます。それで大ケガや手術の際は、どうしてもこの失われた血液を補わなければなりません。最近では心臓の手術など一時に数リットルもの大量の血液が用いられるなど、輸血用の血液は、今後ますます需用量が多くなる傾向にあります。今日では、私たちのその大切な生命も、いろいろ危険にさらされており、いつ輸血を必要とする事態が起こらないとも限りま

せん。そのためにも次の日程で採血車が来村いたしますから、みなさんのご協力をお願いします。



愛の献血
尊い人命

実施月日	実施場所		時 間	対 象
一月二十七日	センター	センター	一三時三十分～十五時	各団体 一般
一月二十八日	センター	営林署入札所	十五時～十六時	〃
〃	〃	〃	九時～十二時	〃

転職訓練生を

募集します

賃金の高い、安全で明るい職場に就職しようとしても、腕に技術がなければなかなか就職が困難なことは、出かせぎなどの実態をみてもよくわかることです。そこで新たな技術を身につけ生活の安定を図ろうとする人のため県の職業訓練校では、実技を中心とした職業訓練を無料で実施します。

〔受け付け〕

職業訓練を受けたい人は、近くの公共職業安定所へ申し出て下さい。願書の受け付け期間は、昭和五十年一月十一日から三月十二日までです。選考は三月十三日で行われます。四月から一年行われます。

〔入校中の特典〕

- ・ 授業料は無料です。
- ・ 失業保険受給中の人、受給資格のある人は訓練期間中、失業保険が受けられます。
- ・ 中高年（三十五歳以上）の人には、公共職業安定所の指示があれば県で最低月額三万円程度の職業訓練手当を支給します。

〔募集内容〕

むつ専修職業訓練校（むつ市文京町三一一、電話四一一三三四）
・ 建築科（三十人）
・ ブロック建築科（二十人）

その他に青森市、八戸市、弘前市、三沢市、木造町にも高等職業訓練校、専修訓練校があります。詳細については、最寄りの公共職業安定所、県立職業訓練校または県の職業訓練校にお問い合わせください。

生きがいとしあわせを招く
職業訓練ノ

村政の窓口

- 十二月十二日 民生委員辞令交付式（センター）
- 十三日 部落総代会
- 十六日 定例議会
- 十七日 〃
- 十八日 〃
- 行政連絡員会議
- 朝野球運営委員会
- 十九日 定例議会

こよみと行事

- 一日 元日、初詣
- 二日 初夢、書初め、初荷
- 三日 佐井村消防団出初式（午前十時、大町）
- 四日 御用始め
- 六日 小寒
- 七日 七草
- 十一日 鏡開き
- 十五日 小正月
- 十六日 さぶ入り

十八日 土用
二十一日 大寒
二月三日 節分
四日 立春

の選挙知事県

投票日は

2月2日(日)です

佐井村選挙管理委員会